

町田市立陸上競技場（野津田公園）、
および野津田公園全体の将来像を明確にし、
それに関わる費用負担等も含め広く周知し、
市民の合意を取ることを求める請願

請願要旨

町田市は、本年12月に『まちだ未来づくりプラン』を公表します。すでに概要版が市民に示されていますが、これは2012年度から2021年度までの10年間に、何を目標に、どのようなまちづくりを進めていくのか、長期的な視点で将来を展望するものです。

そこには、幅広いニーズに応えるすばらしいビジョンがうち出されています。そして、市民と行政の協働がうたわれています。

20年来、市と協力しあって、野津田公園の里山的環境を守り、活用する活動を続けてきた私たちは、この中にもあげられているくみどりのまちづくりを推進するプロジェクトを、今後も市と共に願っています。

しかし、現実問題として、ここにきて野津田公園は「陸上競技場を改修し、サッカー観戦用競技場をつくる」「公園の管理運営を市から指定管理者へ移行」があり、長期的な未来プランが定かに見えなくなってきました。

2008年12月に私たちは新聞紙上で「陸上競技場改修」を市長が記者発表したことを知り、その後新聞紙上で次々に報じられる新しい事態に、ただ、驚くばかりでした。

そして、今年10月25日、再び新聞紙上で、思いがけない計画を知りました。「陸上競技場内に指定管理者が2億円相当の仮設メディアセンターを建て、市がリース料を支払って使用する」という内容です。「この建設費を含め改修工事費は総計約42億円」と記されていました。

今、市民の多くは陸上競技場の改修にこれほど多額のお金が投入されていることを知らないと思います。

市は陸上競技場、および野津田公園全体の将来像を明確にし、それに関わる費用負担等を市民に広く周知し、合意を取ることが必要だと思えます。

以下の項目をお願いいたします。

請願項目

- 1 野津田公園のこれまでの経緯を尊重し、野津田公園の基本方針である”スポーツと里山の調和“を予算のバランスも含め実質的に行ってください。
- 2 指定管理者が公園内に2億円もの建物を建てることについて、関係者は事業内容の説明を早急に行ってください。
- 3 陸上競技場を、公の施設として今後も広く市民に開放してください。陸上競技場で実施する他の競技とJリーグクラブチームのホームグラウンドの両立が可能なのか、より具体的な将来像を市民に示してください。
- 4 今後も、市民と共に歩いていく公園づくりをめざしてください。